

2012年3月28日
株式会社みずほコーポレート銀行

中国銀行間債券市場における人民元建て債券投資について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤康博）は、このたび、中国銀行間債券市場において人民元建て債券投資を実行しました。本件は、当行の人民元預金残高が増加していることに対応したものであり、中国銀行間債券市場での債券投資を実施したのは、日本では当行が初めてです。

当行では、人民元貿易決済の拡大に伴い、人民元建預金、人民元先物為替予約、人民元建ローン等のサービスを提供しており、日本や香港における人民元建預金の残高が増加しています。そのため、人民元建資金の運用手段の多様化が課題となっており、今回の人民元建て債券投資は、その第一歩と位置づけられるものです。

従来、中国銀行間債券市場は海外からの投資が禁止されていましたが、中国の中央銀行（中国人民銀行）がクロスボーダー決済における人民元の利用促進の一環として、2010年8月に関連規定を公布し、同年12月以降外国銀行に対し中国銀行間債券市場への投資を認可してきました。当行本店は2011年5月に認可を取得し、投資実行に向け準備を進めてきました。

当行では、人民元ビジネスの一層の強化を通じて、今後ともお取引先への一層のサービス向上を目指していきます。

以 上